



(一社) 日本歯車工業会 議事録

会議名	開催日時・場所
平成 30 年度 第 4 回理事会	H30. 10. 15 (金) 14:30~17:00/東京：機械振興会館 地下 2 階 B2-2 会議室
出席者 (敬称略)	<p>(会長) 栄野隆 (副会長) 松波俊宣、小原敏治、植田昌克 (理事) 寶角幸彦、田中文彦、宇根宏、岩崎諭三、高橋丈助、山梶直樹、井田斉昭、津井克己、加納孝樹、植草雄一郎、清川敬久、中西浩、池滝重隆、</p> <p>(監事) 矢都木力</p> <p>(来賓) 経済産業省 製造産業局 産業機械課 課長補佐 工藤勉            経済産業省 製造産業局 産業機械課 部品・一般産業機械二係長 渡部圭次</p> <p>(事務局) 本島浩美 以上 21 名出席</p> <p>(理事 17 名、監事 1 名、来賓 2 名、事務局 1 名)</p>
議 事	
<p>理事定数 24 名のところ出席理事 17 名、定款第 36 条に定める理事の過半数の出席により本理事会が成立している旨報告があった。定款第 39 条に基づき栄野会長、矢都木監事を議事録署名人に選任し、議長に栄野会長が就任の上、下記議事を進行した。</p>	
事項・資料	議題 / 決定・検討事項
<p><b>【来賓ご挨拶】</b></p>	<p><b>ご挨拶 (経済産業省 製造産業局産業機械課 工藤勉課長補佐)</b></p> <p>以下の内容についてご説明・ご案内をいただいた。(以下説明資料)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・デジタルトランスフォーメーション推進専門家派遣事業 (商務情報政策局)</li> <li>・事業継承・世代交代集中支援事業 (中小企業庁 財務課)</li> <li>・中小企業再生支援・事業引き継ぎ支援事業 (中小企業庁 金融課)</li> <li>・ものづくり・商業・サービス経営力向上支援事業 (中小企業庁 技術・経営革新課)</li> <li>・中小企業・小規模事業者ワンストップ総合支援事業 (中小企業庁 経営革新課、金融課)</li> <li>・中小企業・小規模事業者人材対策事業 (中小企業庁)</li> <li>・国内・海外販路開拓強化支援事業 (中小企業庁 創業・新事業促進課)</li> <li>・平成 31 年度 経済産業製作の重点(案) (経済産業省)</li> </ul> <p><b>ご挨拶 (栄野会長)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全体として景気は順調に推移するが、一方で先行き不透明。足元で上半期は歯車工業会も前年比プラス。逆風として、原油高、貿易摩擦、関税の影響がどのように影響してくるか注視する必要がある。</li> </ul> <p>歯工会は今年度 3 つ大きな目標を立てており、ここで中間報告をする。</p> <p>“①会員目線” 80 周年式典の参加者数が殆ど固まってきた。企業数でいうと 7 割の会員の方が参加される。予定では 170 名程度となる。これも身近な工業会を目指している結果。</p> <p>“②身近な工業会” として次世代の方による経営研究会を立ち上げ、将来にわたる歯車屋のネットワークづくりに貢献したい。歯工会は彼らの自主的な運営のお手伝いをする</p> <p>“③財政基盤の安定”、皆さまのご尽力のおかげで新会員数が 7% 増となった。</p> <p>来月には 80 周年記念式典があり、ご協力をお願いします。</p>

**【審議・承認】**

**(1) 創立 80 周年記念式典詳細**

【資料 No. 1】 JGMA80 周年記念式典並びに祝賀会（植田副会長）

植田副会長により資料 No. 1 の式典式次第、式典会場レイアウト、会場までの動線図について説明があり、承認された。

式典は 16：00～16：30

- ・会長挨拶～来賓祝辞
- ・表彰状贈呈

対象者が多いため、贈呈は個人に対しては 1 名ずつ、永年企業(10 年以上)については代表で 1 社とした。あとは 11 月 6 日に予定しているプレリハーサルでタイムの確認をする。

祝賀会は 16：30～18：30

- ・会長挨拶～来賓祝辞
- ・AGMA 代表の祝辞
- ・鏡開き（6 名登壇）～乾杯
- ・フォトムービーを予定
- ・演奏（Happy Twins(バイオリン) + ピアノによるアトラクション)
- ・出席人数は 170 名+若干名になる予定
- ・お土産は亀井堂総本店の瓦煎餅（創立 80 周年記念と JGMA マーク入り）、記念誌、記念酒枡
- ・お土産の袋としてエコバックを用意している

**(2) 創立 80 周年表彰規定について（實角支部長）**

【資料 No. 2】 創立 80 周年表彰規定

實角支部長より表彰規定の改定について説明が有り、承認された。

・改定箇所は経済産業大臣・局長表彰の上申基準において年数と功績部分であり、午前に行われた表彰規定分科会において承認を得ている。

- 永年企業 81 社
- 永年役員 2 名
- 業界功労者感謝状 5 名
- 功労者感謝状（学界）6 名
- 団体 2 団体

今まで表彰する機会を逸してしまっただが、今回規定に該当する多くの会員企業、功労者を表彰対象とした。

**(3) 新会員の承認について**

【資料 No. 3】 【資料 No. 4】 入会申込書

・新会員の新規加入について事務局より説明、2 社の入会が承認された。

- 1) オークマ株式会社(賛助会員)（ご紹介者）株式会社イワサテック 社長 辻勇殿
- 2) 株式会社功晴精密(正会員)（ご紹介者）小原歯車工業株式会社 代表取締役社長 小原敏治殿

**【協議・報告】**

**(1) 平成 30 年度の予算・実績（中間報告）**

現在のところ、当初予算の 1 / 3 しか消化出来ていない為に、歯車製造便覧をはじめ式典費用等の費用が計上された時点で、別途報告を行うこととした。

（栄野会長）

## (2) 創立 80 周年記念式典実行委員会報告

### 1) 記念式典分科会 (加納理事)

次世代会の皆さんに当日の手伝いの依頼をする。また、当日の全体取り纏めは式典分科会の加納理事が行う。理事各位にも受付担当、式典会場案内、会場内ご案内等を其々お願いする。当日担当をお願いする方の集合時間は 14:00、その他の理事の方は 15:00 集合、15:30～受付開始となる。胸リボンについて会長・副会長・支部長は白リボン、来賓は赤のリボン。表彰企業は黄色のリボン (約 90 社)、個人表彰はピンクのリボンを用意する (本島)。理事の服装はダークスーツ (準じた服装)。来場者のお出迎えは華美にならないように (栄野会長)。

### 2) JGMANews 記念号分科会 (井田委員長)

予定とおり順調に進んでいる。来週印刷に入り、式典前に完成予定。

### 3) 便覧製造便覧分科会 (小原副会長)

有浦先生に進捗確認を行ったところ、原稿は出揃った。引用する参考文献を 10/18～19 に確認し 10/26 原稿入稿。11 月 8 日に出来上がる予定との報告を受けた  
また表紙についても有浦先生に最終確認し確定した。

### 4) 会員証について (小原副会長)

会員証は記念式典に間に合うように作成できる。アクリル板明日発注で 11/8 に納品される。1 個の予算は 6,200 円で 150 個の発注を行う。  
追加発注の場合、1 個は無償、2 個以上は有償支給とする。

## (3) その他

### 1) 海外視察報告 (植田副会長)

ARROW GEAR 訪問時に 80 周年の案内状を AGMA 会長にお渡しした。シリコンバレーに移動、インテル、グーグル、アップル等 I T 企業見学を実施した。  
海外視察報告書を来月初旬に皆さまに配布する予定。

### 2) 日刊工業新聞会長インタビューについて (栄野会長)

【資料 No. 5】日刊工業新聞 10 月 3 日記事で会長インタビューの申込みあり。  
3 日付の記事、9 面に” ユーザー側が材料について興味を持って規格が立ち上がったというのは面白い、というところからインタビューの際に新聞社から歯車用鋼材の評価法 (JGMATE) について詳しい記事を載せたいとの申し入れがあり、今回の新聞掲載に至った。  
インタビューにも答えたが、JGMA 規格作成から始める。先に規格制定の委員会を発足した。今後、サンプルを集めてデータ収集し、規格制定の原案作成準備を進める。

### 3) 景況報告 (各社)

下期に入ったことを受け、全出席理事から景況についてのご説明を頂いた。

#### (1) Q 社 :

- ・ 9 月は上期の勢いに比べ、少し落ち着いた。(受注減少傾向になった) 対前年比ほぼ横ばい。米中の貿易摩擦の影響を注視。

(2) P社：

- ・工作機械関係が、繁忙を極め、大変だったが、9月からは受注落ち着いた。韓国向け半導体が、落ち着いた。台湾向けも、納期調整の交渉に入った。今後について、警戒感。

(3) O社：

- ・6月決算、リーマン前と同じレベルだった。7～9月で、受注下降気味。下期増産のはずだったが、本当に大丈夫かという感覚でいる。人手不足、派遣は不足、残業少なくならない。

(4) N社：

- ・ここ数年財務状況厳しかったが、4月以降は、好調続いた。半導体は、中国関係持続。納期約1年、今は良い方向に向かっているが、米中関係の影響心配。

(5) M社：

- ・足許は、忙しくはない。短納期対応の残業多い。仕事量が多いが故の残業では必ずしもない。

(6) L社：

- ・ここ1年半位、受注多かったが、8～9月で受注落ち込み。ロボット向けが、1/2～1/3になった。

(7) K社：

- ・厳しい状況。コンベンショナルは今後無くなる危機感。置き換えが、今期から来期にかけて。仕事量自体は、今は変わらず。

(8) J社：

- ・17年7月～18年9月、半導体、工作機械用で、高いレベルの生産状況続いた。台風25号の影響、10/1に自転車置き場の屋根飛んだ被害を受けた。

(9) I社：

- ・工作機械中心に今は増産のままの状況。台風21号で、屋根をはがれた。停電被害が、1週間あり、災害時の電力供給維持の対応急務。

(10) H社：

- ・国内向け、農業機械横ばい。季節変動要因。排ガス規制対応急ぐ。中国向けの道路建設需要は強い。インフラ建機はもう少し続く予想。台風で3～4日操業中止。(通勤不可)

(11) G社：

- ・台風で工場の屋根飛んだ。1週間電力停止の影響大きい。自家発の燃料も来ず。4～6月は生産良かった。9月は、貿易摩擦の影響出ているが、だからと言って仕事が中国から、日本に戻ってくることは想定できない。

(12) F社：

- ・7割が建機で、昨年並み。電力使用量節約継続。海外からの研修生必要。3～5年間の技能研修生。経産省へお願いしたい。

(13) E社：

- ・工作機械好調。ここ数年ボールネジ、ガイドの納期問題困っていたが、少し、改善している。ロボット用ギヤ、毎年増えていたが、9月に落ち着いた。

(14) D社：

- ・建機向けは、まだ増産かという位の勢い。特に大型建機。米中のバトルが々影響するか懸念している。人材問題は、表面的には加熱。話を進めると時期を見るという傾向。外国人材は、大学卒、技能実習生も活用しているものの、人手不足が悩み。

	<p>(15) C社：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・工作機械関係自動車関係が、順調に推移。</li> </ul> <p>(16) B社：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・6月はよく纏まった。リーマン前に戻った。運送業で困っている。</li> </ul> <p>(17) A社：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大型歯車の仕事量少ない。</li> </ul>	
<b>【添付資料】</b>	<p>資料 No. 1 式典式次第</p> <p>資料 No. 2 創立 80 周年表彰規定</p> <p>資料 No. 3 入会申込書 賛助会員（オークマ株式会社）</p> <p>資料 No. 4 入会申込書 正会員（株式会社功晴精密）</p> <p>資料 No. 5 日刊工業新聞 10 月 3 日記事</p>	
<b>次回開催日</b>	平成 30 年度第 5 回理事会	2018. 12. 7（金） 14:00～17:00／東京・機械振興会館

以上

平成 30 年 10 月 15 日

一般社団法人 日本歯車工業会  
会長 栄野 隆 印

一般社団法人 日本歯車工業会  
監事 矢都木 力 印